



### 1月28日紙芝居「岩波茂雄物語」公民館で発表（6-1 総合）



#### 【地域の皆さんの感想】

- ・1つ1つの言葉も練習してあったなと思った
- ・素晴らしい公演を見せていただいてよかった。1つ1つの台詞よかった。今年の発表は、特によかった。
- ・風樹文庫は、来年(2027年)80周年になる、中洲小で、岩波茂雄のことを広げてもらっていてありがたい。
- ・岩波書店の全書籍があるのは、岩波書店、国立国会図書館、風樹文庫の3か所だけ。この価値を広めてほしい。



### 5年生、自分達で作ったもち米を地域の皆さんに販売し、お礼状を地区回覧

5年生の米づくり学習は、地域の協力により途切れることなく、毎年行われています。しかし、今年**は「地域と関わって学ぶ」学習**がとてよくできていました。自分たちで食べ、お世話になった方に届けて、余ったもち米を「地域の皆さんに販売する。」という学習を行いました。地域回覧を使って、米の販売日をお知らせし、当日完売だった様子をお礼回覧で知らせてくれました。



### 3月9日、最後の読み聞かせがありました。



5月から始めて3月までの11回の読み聞かせに、地域の皆さんの他、PTA親子文庫役員・有志の皆さんも加わって、昨年以上の読み聞かせができました。ただ、読み聞かせの人数不足で、高学年には6~8回の読み聞かせ回数でした。読み聞かせしてくれる方、さらに募集中です。

裏面あります

## 「第4回学校運営協議会(2/4)」・「中洲教育を考える会(2/18)」において



「中洲教育を考える会」(2/18)には、保護者、地域の皆さんが、学校からの説明や提案を熱心に聞いていました。

## 8年度「中洲小学校運営基本方針」が保護者・地域に示されました。

令和8年度の行動目標

### 自分と友だちのよさを伝える

～自分もみんなも「幸せ」～

- ▶自分のよさをさらに自覚して、自己肯定感を高める。
- ▶友だちのよさを知り、自分との違いを認めたり、友だちの存在を意識して関わりを考えたりする。
- ▶友だちとのつながりの中でさらに自分自身のよさに目を向ける。(相乗効果)

「自分っていいな。」「友だちっていいな。」

この通信では、学校より説明・提案されたものの中から、中洲地域に住む私たちが、関われそうなものについて、一つだけ紹介します。

左が中洲小の行動目標、つまり、「こんな子になってほしい」という願いです。

私たちは、ついつい「できないこと」に目を向けがちですが、我が子・わが孫、近所の小学生と関わる時、できないことだけでなく、子ども達のよい点を探してみたいかがででしょうか。もしも、よい点に気づいたら、それを伝えるよう心がけてみましょう。もちろん、よい点をほめることと、「いけないこと」を注意することは違います。

また、具体策として学校では、「ありがとう」という言葉を使うよう提案しています。

学校の先生方に取り組みをお任せするのではなく、家庭や地域でも心がけて、「ありがとう」の行き交う中洲地域をめざしていきたいものですね。

#### ◎具体的な取組

#### ・PBS:ポジティブ行動支援

・「自分っていいな」「友だちっていいな」を  
どんどん伝える

～「ありがとう」を通して伝え合う～